

.....
エルサレムより、シャローム。アミールです。現在起こっているいくつかの事柄について、短くアップデートしたいと思います。数日前に、イスラエルによるシリア攻撃についてお伝えしました。少なくとも、過去10年間にはなかったことです。その中でお話ししましたが、イスラエルが今回と同じ規模で施設攻撃したのはほんの10年前、シリアの砂漠にあった北朝鮮のプルトニウム原子炉を破壊した時です。当時は、F-15からレーザー誘導ミサイルを落とすために、イスラエルは司令部隊を送って、標的に目印をつけさせました。しかし、今回は違います。今回のこれは、また別の話です。イスラエルはロシアのレーダーを避けるために、新しいF-35を使ったのだらうと憶測している人たちもいますが、その方々にお伝えしておきます。新しいF-35はまだ始動は出来ません。今現在、適切なものを搭載し、全てが必要な時に正常に機能するか確認中です。ですから、それはまだ準備中です。攻撃にはF-15が使われました。これも、物凄い飛行機です。何度も言いますが、私は海外の諜報機関が伝えたことだけを言っています。私たちには、イスラエルがそれを行ったと確証することは、許されていませんから。しかし、イスラエルの首相でさえ、毎週のフェイスブック投稿で、それが窺える発言をしています。

「イスラエルが自国を守るために必要な事を行うのは、いつもの事だ。」

通常、何もしていないなら、そのような発言はしないでしょう。イランにとっては完全な驚きで、彼らは未だにショック状態にあります。彼らは死体を数えています、その攻撃による死者のほとんどがイラン人だからです。他には、ヒズボラの職員もいます。それに対して、シリア政権だけが、

「イスラエルはそのツケを払うようになる」とか

「その報いを受ける」とか、

犬のように吠えています、現実には、シリアも自分たちには何も出来ない事を理解しています。彼らに出来る事と言えば、ロシアやイランや、その他の誰かヒズボラのようなイランの代理等に頼ることぐらいで、彼らは自分では何も出来ないのです。

次に、イスラエルはそれを行い、また同時に過去20年間で最大規模の軍事演習をイスラエル北部で行っています。実際、二日前の夜中に目が覚めて——深夜3時でしたが、——私が住んでいるエズレルの谷、アルマゲドンの谷とも呼ばれる場所の隣にある、イスラエル北部の空軍基地から多数のF-16が離陸する音を耳にしました。その数は非常に多く、3時から朝の6時まで数えていましたが、私は「いよいよだ」と思いました。何かが起こっていると思ったのです。そして朝になって、いくつか電話をして、行われている演習の全体が、何百人というヒズボラのテロリストによる北部からのイスラエル潜入を想定してのものと分かりました。演習は、自分たちの軍隊をいかに集めて、事前に彼らを阻止して押し戻し、攻撃に入るか、というものでした。彼らは、レバノンへの攻撃の始めに、F-16を離陸させます。そして、同日、イスラエルの防衛大臣が次のように述べました。

「レバノンは行動する前に、よく考えるべきだ。イスラエルは、そちらの領土から飛んでくるもの、向かってくるもの全てに対して、レバノン人とレバノン政府にその責任を課す。」ヒズボラは現在、10万機以上のロケットを所有しており、イスラエルは、そのほとんどの所在を知っています。私たちが最も危惧しているのは、テルアビブやエルサレム等、

人口の密集するイスラエル中心部に届く長距離ミサイルです。そして、2006年同様、我々は戦争が始まった最初の数分で、それらを破壊します。私たちと戦争を始めても意味がないことは、ヒズボラも理解していると思います。なぜなら、我々の主権を脅かす、彼ら側からの攻撃に対して、イスラエルはもうこれ以上容認しませんから。今回はイスラエルも本気でかかり、邪魔するものは、文字通り破壊します。

こう言うとき「あなたがたもシリアの中心を攻撃したじゃないか」と言う人もいるでしょう。そうです。しかし我々は、一般市民を殺してはいませんし、市町村を攻撃していません。我々が破壊したのは、ヒズボラの元に運搬中の武器と、武器を製造している施設、それだけです。我々は防衛のために先制攻撃を行っていて、不正な武器が不正な者の手に渡らないようにしているのであって、それが、私たちが基本的に行っていることです。

次に、演習が行われているだけでなく、イスラエルの首相は数週間前ロシアの大統領に「イスラエルは間もなく軍事演習を行う」という事を知らせてだけではなく、「万一、戦争が始まるのなら、イスラエルは戦争の備えも出来ている」と伝えました。演習は、シリア中心部での化学兵器施設の攻撃には絶好の構えでした。世界の大半が驚いたのは、我々がロシアの空軍基地から70kmの所で空爆を行った事で、——そこは実際に、S-400対航空機システムに取り囲まれています。そこで、皆が疑問に思うのは、

「ロシアはそれを知っていたのか？」

私が思うには、ロシアは、イランが生物・化学兵器でシリア中心部を滅茶苦茶にすることを快くは思っておらず、さらに言えば、イスラエルがあの地域を攻撃することで、ロシアの兵士たちをその脅威から守るなら、ロシアにとっても都合が良いのです。何より、そのことで責められるのは、イスラエルですから。

もう一つ、皆さんが知っておくべきなのは、アサドがこの全てを楽しんでいるという事です。イスラエルがシリアを攻撃すれば、イスラム界は彼の事をユダヤ主義者・ユダヤ人に攻撃された者と思なし、彼に対して好意的な目を向けます。そうすれば、彼は殺人者ではなく、被害者になりますから。だから、彼は大喜びなのです。ですから、恐らく彼にとっては、報復する気もなければ、状況を変える気もないでしょう。現在、シリア軍もしくはシリア政府は、シリアの75%を支配しています。つまり、反政府勢力はもう、諦めかけているということです。今でも勇敢に戦っている集団が一つだけ存在します。それに関しては、後ほどお話しますが。

ISISが崩壊の一途をたどっています。ここで皆さんが理解するために、ISISについて少しお話しておきます。ISISは崩壊しつつあるだけでなく、今現在彼らの全資本、全資金をヨーロッパの銀行に移しています。あちらで眠っている「細胞たち」による、ヨーロッパでのテロ攻撃を促進させるためです。もう一つ、皆さんが知っておくべきなのは、ISISが所有していた油井の90%以上が、もうすでに彼らの手中にはない、ということです。彼らに残っているのは、シリアの砂漠に1,2ヶ所ある、一日に約25,000バレル生産するものだけです。しかし、それさえも売る相手がいないのです。そのためISISは現在、パルミラやその他多くの古代都市遺跡から盗んできた古代遺物の売買をし、これまで以上に人を誘拐して、身代金を得ています。ですから、彼らはもう、イデオロギーをばらまいてはおらず、生き残りに必死です。今ではISIS工作員の多くが、ヨーロッパに行く道中トルコに戻っています。そして、信じがたいかも知れませんが、ヨーロッパは彼らを歓迎しています。つ

い先日、スウェーデンで見た広告では、スウェーデンの人が——少なくとも政府が伝えていました——

「ISIS工作員がスウェーデンに戻って来るのなら、好待遇でお迎えいたします。仕事も見つけてさし上げます」

ヨーロッパで一体何が起きているのか、彼らが何を考えているのか、私にはよく分かりませんが、唯一、私に言えるのは、政府と市民がもはや通じ合えていないという事です。現在私は、10月7日にミネソタ州で行われる「預言カンファレンス」でお話する、ヨーロッパに関するメッセージをまとめていますが、その時に、現在のヨーロッパ人たちがどれほど絶望し、失望しているか、そして現在のこの状況から抜け出せる希望を与えてくれる人なら、誰でも受け入れる用意がどれほど整っているかを示す、いくつかの事柄をお話します。現在のヨーロッパの公共の場が、全てイスラムになっているわけではありません。実際、ヨーロッパのイスラム教徒は、多くて15%ほどでしょう。しかし、85%はどうして良いのか分からないのです。それは、こんな言葉を使ったら申し訳ないのですが、彼らの政府があまりにも馬鹿だからです。こんなことを言ってすみません。ただ、ヨーロッパが深い深い暗闇にいるということを、皆さんには理解していただきたいのです。これがまさに、私が信じている「ヨーロッパが反キリストを生み出す状況」となっているのです。

しかし、それだけではなく、現在私たちは様々な方面で、信じられないような9月を過ごしていることを、皆さんは知っておいてください。まず、これまでの9月とは全く違って、考えられないような自然災害を目撃しています。イスラエル時間の今朝、フェイスブックやその他で投稿したメッセージは

「Let's Finish Well」（最後までしっかり頑張ろう）

私たちは、もうゴール間近まで来ていると、私は思っています。そして、私たちは最後までしっかり頑張らなければなりません。私たちの周辺では物凄い事が起こっています。

カリフォルニアで火事、

オレゴンで火事、

ワシントンで火事、

ブリティッシュコロンビアで火事、

アルバータで火事、

モンタナで火事、

ノバスコシアで火事

ギリシャで火事、

ブラジルで火事、

ポルトガルで火事、

アルジェリアで火事、

チュニジアで火事、

グリーンランドで火事、

ロシアのサハ共和国で火事、

シベリアで火事、

テキサスは水に浸かり、インド、ネパール、パキスタン、バングラディッシュは記録的モンスーンの被害で死者多数。（ハリケーン）イルマで40人が死亡し、（ハリケーン）ハーヴィーで60人が死亡したとして、このインド、ネパール、パキスタンに至っては、何千人

です。それを誰も報道しません。他の地域でもモンスーンの被害が出ています。シエラレオネ、ニジェールでは大洪水、フィリピンもそうです。私はフィリピンにたくさん友人がいますが、ルソン島でも物凄い洪水です。どれもが記録的なモンスーン、土砂崩れで、何千人もの死者が出ています。私は、心から愛するアメリカの人たちにずっと伝えようとしているのですが、——確かに、ハリケーンはとんでもないことです。たくさんの人が財産を失いました。それでも、何千人もの命とは比べものになりません。一步下がって、全体像を見なければいけません。現在起こっていることは、神がアメリカに何かをされているためでしょうか？絶対に違います！これは、全被造物です。これは、世界中で起こっているのです。私たちが目にしているのは、アメリカだけでなく、はるかに大きな事なのです。さらにイタリア、フランス、スペイン、スイス、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、ボスニア、クロアチア、セルビアでは、華氏100度（摂氏で37.7℃）を超える熱波で死者が出ています。その名もずばり、ルシファー！アメリカだけではありません。南カリフォルニアでは引き続き華氏100度を超え、暑さは和らぐ気配がありません。通常8月には肌寒いサンフランシスコでは、華氏106度（摂氏41℃）を記録、市の南部では華氏115度（摂氏46℃）に達し、北カリフォルニアでは華氏100度越えが続いています。

皆さん！

次に地震について。イエローストーン火山では6月以降に2,300回以上の揺れを観測、6月15日にはM4.4、8月21日にはM3.3の地震が記録されました。M5.3の地震がアイダホを揺さぶり、日本ではM6.1の地震と津波の可能性あり、メキシコでは2日ほど前にM8.2と津波で100名以上が死亡しました。ちなみにイスラエルは、あちらに救急隊を派遣しています。海岸線は、少なくとも50m以上が後退、約200フィート、50ヤードの海が失くなったのです。ハリケーンはハーヴィー、そして、記録史上最大のイルマ、ホセが迫って来ていて、カティアは大西洋上で、さらに8個を形成する可能性があります。太陽フレアは、これまでに観測された中で最大級。

要点はとても簡単です。中東は戦争の準備が整っており、ヨーロッパは指導者を切望しています。マクロンについて、お話したのを覚えていますか？私は、彼が反キリストだとは思わないと言いましたが、彼はその前兆で、あのようにしてヨーロッパの人々は選ぶのです。彼らは、自分たちがよく知らない人物を選ぶほどに、絶望的だったのです。マクロンは今では支持を失っているのです。フランス人はもはやマクロンを好きではなく、パリや市外でも抗議やデモが至るところで行われています。マクロンは上手くやれておらず、これはヨーロッパ人の混乱の一部で、彼らはパリがロンドンに代わって経済の拠点になると思ったのです。でも、なりません。パリは現在、フラフラです。西ヨーロッパは今、大変なことになっています。ドイツは、アンゲラ・メルケルに投票するでしょう。彼女が当選する可能性は大きいです。彼女は、若者を洗脳しているからです。これは大きな作戦ですよ。よく考えてみてください。左派のリベラル政府は、移民や不法移民をどんどん入れることに必死で、彼らが若者を騙しているのです。出来もしないと分かっているながら、無料教育を約束したり、あれやこれやと約束して、こういった人たちの票を得るのです。アンゲラ・メルケルは、ドイツで若者の55%以上の支持を獲得しています。彼女が当選する可能性は、高いでしょう。そのうちに分かります。ともかく、私が言いたいのは、ヨーロッパではあまりにも多くの欺きがあり、あまりにも絶望的で、あまりにも混乱が酷く、信じられないほどです。そして、ヨーロッパで起こっている事、中東で起こっている事、世界

中で起こっている事、これらが終わりのしるしとして、我々が見るべき事柄です。

一つ、言っておきます。私が、9月23日の星のしるしについて反対している事で、多くの人々が私に憤っておられますが、私は、どのしるしに対しても反対していません。私は、日と時間を定めることに反対なのです。何に関しても、日と時間を知っている人は誰もいません。そのために、しるしが与えられているのです。私たちはその日、その時間を知らないから、しるしが与えられました。しかし、私たちには、時と季節は分かります。私たちには、これから来る「しるしのしるし」は与えられていません。全く訳が分かりません。現在、クリスチャンたちがしていることは終わりに備えるのではなく、しるしへの備えについて言い争っているのです。私たちは常に用意が出来ているべきだと、私は思っています。そのため、私たちにはその日も時間も与えられていないのです。これは、福音書の中にも明確に出てきます。神は、ベツレヘムの星を見た王たちに、4週間ほど前にお知らせしましたか？

「あなたがたは、この日に星を見るから、それに向けて荷造りしておきなさい？」

いいえ！彼らは星を見た時に、動き出したのです。私たちはしるしを見て、それが迫っていることを理解するのです。我々が今行っているのは、実体ではなく、しるしを巡っての言い争いばかりです。そして、実体とは、我々はまさに終わりに来ているということ。しかもそれは、言い争う必要もない事です。そして、面白いことに、聖書がそれについて語っていることです。ローマ書8章には、被造物のうめきや、産みの苦しみについて書いてありますが、さらに第一テサロニケ5章も思い出してください。もちろん、皆さんはこの箇所をご存知でしょうが、皆、途中まで読んで最後まであまり読みません。読んでみましょう。日や時間について、聖書にはこうあります。（聖書を捲りながら）私たちは、時と季節を知っており、驚いたりはしません。そして聖書にはこうあります。

- 12 兄弟たちよ。あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあつてあなたがたを指導し、訓戒している人々を認めなさい。
- 13 その務めのゆえに、愛をもって深い尊敬を払いなさい。お互いの間に平和を保ちなさい。
- 14 兄弟たち。あなたがたに勧告します。気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。
- 15 だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行うように努めなさい。

（第一テサロニケ5:12～15）

私たちは理解しておかなければなりません。我々はお互いに愛し合い、お互いに支え合い、お互いのために、そこにいなければなりません。争う事ではありません。私たちが今しているのはただ、しるしを巡る争いだけとは悲しいじゃないですか。しるしは、そもそも信じていない人たちに知らせるためのものなのです。

「主が約束されたことが起こるから、注意しろ！」と。

もし私たちが、日にちが迫っていることを知っていたら、終わりがすぐ近くまで来ていることを、もし私たちが理解していたら、明日の特定の時間に、星に起こるであろうことを何であれ、もしあなたが知っていたとすれば、それが我々がすでに持っている知識、「終わりが近い」という事に影響すると思いませんか？我々は荷造りか何かをするために、お知らせが必要なのでしょうか？私たちは、常に備えが出来ていなければなりません。私たち

はしっかりと信仰に立っていなければいけません。私たちには、イエスご自身が言われた事や、書簡が伝えていた、終わりを特徴付けるしるしが何百とあることを理解しておかなければなりません。それから、皆さんの中には「Sign」（しるし）という映画の予告をご覧になった方もいらっしゃるでしょう。そこにわたしの顔が出ていることに気付いた人もいます。そして、たくさんの方から問い合わせがありました。

「9月23日のしるしには反対だと思っていたのに、どうしてあんな映画に出ているのか？」

私は、別のしるしについて伝える為に、あの映画に出ました。今すでに与えられているもの以外に、何も求める必要はない、私たちは毎日毎日それらを目にしているんだ、と伝える為に。それが、予告の編集の中で彼らは、「戦争と戦争のうわさを」と言っている私の声と、私の顔を出して、その直後に星座に移したので、まるで私もその一部のように見えたのです。でも、皆さんに知っておいてほしいのは、それは違うという事です。事実、私はプロデューサーに連絡をして、なぜこんなことをしたのかと尋ねました。それに対する彼らの回答は

「あなたが9月23日のしるしが本当だと言っているとは、一切紹介していません。映画の中で、あなたの意見は、実に明確にしてあります。私たちは契約を守り、実際と異なるように表現したりいたしません。多彩な出演者と、様々な視点と信仰を含むことで、この映画を独特かつ説得力のあるものに仕上げました。2分の細切れを基に、人々が結論付けたことはとても遺憾に思いますが、木曜日、誰もが真実を見るでしょう。」

ですから、私は一切心変わりはありません。私たちは9月24日もまた、一緒にコーヒーを飲んでいるでしょう。

事実、皆さんには9月21日に注目していただきたいと思います。国連で、「国連国際平和デー」の会議が開催されます。とても面白いのが、この平和の日に関して調べていて見つけた、今年のテーマです

「ともに平和を、すべての人の安全と尊厳を尊重しよう」。

平和と安全とは、第一テサロニケに書いてある事そのまま、

3 人々が「平和だ。安全だ」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。

(第一テサロニケ5:3)

ですから、国連は「平和、安全」「平和、安全」「平和、安全」...と押していて、周りを見渡せば、破滅、混乱、恐れ、テロが至るところで見られます。

もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、中東は急速に変化していて、9月25日には、——多くの人々が9月23日で思考が止まっていて、考えにくいでしょうが、人生は続きます。9月25日には、クルド人が——彼らは中東の少数派で、本当に、実際にISISと戦っている人たちです——彼らは国民調査を行い、また、イラク北部とシリアでの独立を決める選挙を行います。皆さん、これは注目しておくべき事です。なぜかと言うと、イランもトルコもシリアも、クルド人を独立させることに反対だからです。今の時点では、トルコはそれを受け入れていません。イスラエルのヤイール・ゴラン少佐は、我々の軍事司令官長の一人ですが、彼の言葉が今日、引用されていました。

「イスラエルは、クルディスタン労働党を、1920年トルコで始まったクルド人の抵抗運動

とは見ていない。我々はそれをテロ組織だとは見ていない。」

我々がそう言うと、トルコはどれほど激怒するか、想像できますか？しかし、トルコがハマスやテロ組織とは見なしていないのと同じです。彼らがそうであることは、私たちの誰もが知っていますが。そして、我々には、我々はクルド人をテロ組織とは見ていないという能力も権利もあります。それに、正直に言えば、私はクルド人を称賛しますよ。私は彼らを称賛します。また私は、彼らに対してあまりに多くの不正が成された、と思っています。彼らは、自分の国を持つ権利があると思います。彼らは、周辺のあまりにも多くの皇帝や国々から痛めつけられてきたと思います。世界が、これまで一度も存在しなかった人々、他の国々からやって来た難民たちにパレスチナ国家を押ししている間に、クルド人はずっとそこに何百年もいたのです。彼らには、自分の国を持つ権利があります。彼らは、トルコがトルコになる前から、シリアが独立する前から、そこにいたのです。クルド人はそこに居ました。トランプ大統領は現在、ISISを空爆し、シリアの横からシリア派が前進して、シリアとイラク間の連結を止めることで、クルド人を援護しています。しかしロシアは、ISISを破壊し、クルドの魂を砕こうとしています。ですから、背後ではアメリカとロシアの対戦で、クルドは間に挟まれています。彼らが求めるのは、ただ独立だけです。いずれにしても、彼らはそこでは多数派なので、そこを支配します。世界は、いつも彼らの国土を持つ権利、独立の権利を奪い取りますが、彼らはとても勇敢な戦士です。私は、いつか彼らが当然のものを得て、平和に暮らすのを見たいと心底願っています。

残念ながら、私のキューバ行きは中止になりました。イルマの影響で、予定していた場所は完全に浸水し、電気もなく、予定していたカンファレンスが行える状態ではありません。数か月後に来てほしいと言われており、私は行くつもりでいます。マイアミには行きます。マイアミも洪水が襲いましたが、キューバほど酷くはなかったのです。マイアミのカルバリーチャペルに招かれて、9月27日の水曜日だけでなく、10月1日の日曜日にもメッセージをします。お近くの方で来られる方は、車ででも、カヌーでも、ぜひお越しください。私たちはフロリダの人々のために祈りますし、テキサスの人々のために祈ります。それでも、これが神のアメリカに対する裁きであるとは、全く思っていません。世界中で起こっていることです。とても面白いことに、ステイーヴィー・ワンダーやビヨンセといったハリウッドスターたちが一斉に

「これは地球温暖化のせいだ」と言い出しました。昨日は

「地球温暖化がハリケーンをもたらした」と言っていました。

それと、当然これは彼らの”トランプたたき”の一つでもあります。と言っても、——いつも言いますが、私は地球温暖化など信じたこともなければ、今も信じていません。これはインチキですから。ただ、世界は地球温暖化、気候変動のアジェンダを押し、世界統一政府へと持って行こうとしているのです。これは、数日後に開催される国連総会で大きく取り上げられるでしょうし、今年の残りの日々はこれ一色になるでしょう。そして、アメリカに対して、パリ協定に戻るよう膨大なプレッシャーを与えるでしょう。それはアメリカにとっては大惨事です。まるで、それが世界の問題であるかのようにされていますが、皆さんに言うておきます。これら全ての起こっている事と、これら全ての混乱と、これら全ての感わしで、多くの人から聞かれます。

「終わりについてワクワクしているとしても、やっぱり恐れはあるでしょう？」と。

ということで、被造物がうめいている、と書かれた同じ章に書かれていることと、これらの出来事についてお話して、今日のメッセージを締めくくりたいと思います。

ローマ書8:15にこうあります。

- 15 あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によって、「アバ、父」と呼びます。
- 16 私たちが神の子どもであることは、御霊ご自身が、私たちの霊とともに、あかししてくださいます。
- 17 もし子どもであるなら、相続人でもあります。私たちがキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているなら、私たちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人でもあります。
- 18 今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。
- 19 被造物も、切実な思いで神の子どもたちの現れを待ち望んでいるのです。

(ローマ書8:15～19)

ですから、神の御言葉から私たちが受ける事の出来るたくさんの希望で、最後を締めくくりたいと思います。神は、その子どもたちを世話するために、そこにおられます。神は、この終わりの日、終わりの時間に、私たちが御国のために働くことを望んでおられます。私は、私たちに残されたこのわずかな時間は、ヘブル人への手紙12:1にあるように、

- 1 ...私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって、走り続けようではありませんか。

(ヘブル12:1)

星の並びや、月や太陽を見るのではなく、

- 2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないで

(ヘブル12:2)

いましょう。私たちは、御父の右に座を占めておられる方を、覚えなければなりません。上にあるものをもとめましょう。地上のものを思わず、天にあるものを思いましょう。私たちの国籍は天にあります。私たちは、すぐに私たちが属する場所へと戻ります。私たちは、もうこの地上にはいなくなるのです。どうか皆さん、元気を出してください。現在起こっていることは、全て予測通りの事で、全て、前もって語られてきたことです。それでいて、勝利と希望もその一部です。世界中で起こっている、悪い事だけではありません。勝利もです！イエスは言われました。

- 33 あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。

(ヨハネ16:33)

祈りましょう。

お父様、心から感謝します。

この混乱と絶望、惑わしと恐怖、恐れ、苦痛の最中、友人や財産を失った人もいます。お父様、私たちの希望はこの世ではなく、この世のものでもない事を私たちは知っています。お父様、感謝します。この先たくさんの素晴らしいことが、私たち全員を待ち受けています。私たちが求め、探すべきもの。お父様、あなたは「この世の事を思わず、天

にあるものを思いなさい」と言われました。しかし、あなたは、太陽や月・星について言われたのではありません。あなたは「イエスを見る」と言われました。御父の右に座を占めておられる方です。ですから私たちは、私たちの信仰の創始者であり、完成させてくださる方を見ながら、この競争を忍耐と我慢をもって走り続けます。お父様、感謝します。あなたは、これから来ようとしている試練の時から、あなたの子どもたちを取り去るために、間もなく、私たちを迎えに来てくださいます。あなたは、あなたの子どもたちが、あなたの御怒りに遭うようには定めておられません。そして、あなたの御怒りが来た時には、それが1つや2つや3つのハリケーンではないことを、世界は知るでしょう。黙示録には考えられないような出来事がいっぱいです。その時には、私たちはもう、ここを出ています。私たちは、自分たちがそれらを経験しない事に感謝します。しかし同時に、お父様。私たちがあなたの御言葉を行うだけでなく、城壁の見張り人にもなれるようにしてください。そして、御国の働き手となれますように。お父様、もしも私たちに恥ずかしいという思いがあるなら、それを取り去ってください。そして、福音を説き、この大変な世にあって私たちの持つ希望について、堂々と伝えられますように。あなたの御名を祝福します。エルサレムより、宣言します。

「私たちは、あなたの来られるのを、お待ちしております。」

まず、花嫁を連れ去りに来られ、次に花嫁とともに戻って来られます。私が今いるこの街に1,000年間。エルサレムの午後、アメリカの朝、オーストラリアの深夜、今、あなたの御名を祝福します。このお祈りを、他にない、最も美しい御名、既に勝利された方、死に打ち勝った方、現在は私たちの為に場所を備えてくださっている方、ヤシュア、イエスの御名を通してお捧げします。

皆が言います。アーメン。

今日もまた、アロンの祝福をお送りしたいと思います。民数記6:24～26です。皆さん全員の上に、ヘブル語で宣言します。これは、儀式ではありませんよ？ヘブル語の、何か、かっこいい事でもありません。これは、主がモーセに告げて、アロンにイスラエルの子どもたちを祝福させた祝福です。私は、神の民となった人は誰でも、この祝福の対象になっていると思っています。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	・・(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ウィーフネッカー	エーレーハー	バーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וַיְחַנֵּךְ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
・・(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	バーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שָׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26)

理解をはるかに超える平安を、主がくださいますように。世が与えることの出来ない平安です。世には理解することも出来ない平安です。それは、理解をはるかに超える平安で、平和の君にしか与えることの出来ない平安です。ちょうど、第二テサロニケ人への手紙の終わりの方にある、私の好きな箇所なのですが、世は、限られた場所で、一時的な平安しか与えられません。しかし、聖書には第二テサロニケにこのように書かれています。

- 16 どうか、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。

(第二テサロニケ3:16)

彼は、平和を与えることが出来るのです。彼は、平和の主ですから。しかも彼は、いつもあなたに平和を与えられるのです。ほんの7年間だけとか、それも途中で破ったりなんてことはありません。いつでも、どんな場合でも、どこでも、です。あなたがどこに居ようと、どこから来ようと、関係ありません。最後に、これで締めたいと思います。もう、ゴールまで来ています。あなたがどんな風に始めたかは問題ではありません。大事なのは、どう終わるか、です。私たちがどこから来たのかは、関係ない。大事なのは、私たちがどこへ行くか、です。大半の信者は、主を信じた初めの頃が最高の時ではないかと思います。私たちは、それを初恋と呼びます。その頃に帰りませんか？そうすれば、この世での信者としての最後の段階は、もっと素晴らしくなるはずです。始まり方がどうであれ、大事なのは、どう終わるかです。ということで、最後にこの言葉で終わりたいと思います。

勇敢でありなさい。イエスがこの世に勝利されたのです。

引き続き、ビホールドイスラエルにご連絡ください。あなたがどこに住んでおられるか、祈りのリクエストや、神があなたにされたことで私たちに伝えたいことなど。私たちのYouTubeチャンネルをご登録ください。先日、登録者が5万人を超え、本当にうれしく思っています。ニュースレターでは、フェイスブックやYouTubeのない方でもEメールで受信していただけます。Behold Israel.orgです。Instagramでもフォローしてください。

ありがとうございます。God bless you!

エルサレムより、I love you all!

Shalom!

Bye-bye!

メッセージby Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>